

## 第2期横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証結果

(令和3年度事業に対する効果検証)

### 1. 目的

- ・第2期横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況を適切に把握し、施策の効果を検証することで、目標の達成に向けたPDCAサイクルの実効性を高めることを目的とする。

### 2. 検証内容

- ・令和3年度の取り組みについて、外部有識者による分野別の効果検証を実施した。

#### 【検証の手法】

#### (1) 内部評価

- ・行政評価制度に基づき、事業担当部及び課室所において内部評価を実施した。
  - 実施計画事業評価（係長評価・課長承認）
  - 施策評価（課長評価・部長承認）

#### (2) 外部評価

- ・内部評価の結果を踏まえ、分野別に有識者会議による効果検証を行った。

有識者会議	有識者4名で構成（学識経験者等）
検証日時	第1回 令和5年2月1日（水）15：00～17：00
	第2回 令和5年2月8日（水）15：00～17：00

#### (3) 評価単位

- ・総合戦略に掲げる5つの分野別項目を検証単位とした。

基本目標1	いきいきと働くことができるまちづくり
基本目標2	新しい人の流れづくり
基本目標3	結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり
基本目標4	新たな時代に対応した地域づくり・人づくり
共通目標	新しい時代の流れを力にするまちづくり

(4) 評価の視点

- ・評価は、以下の2つの視点において実施した。

評価の視点	考え方
①K P Iの達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ K P Iの推移は妥当であるか</li> <li>・ 事業の実施効果があらわれているか</li> <li>・ 目標値の設定は妥当であるか</li> </ul>
②取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ K P I達成のための手段は妥当であるか</li> <li>・ 市民ニーズに適した事業内容となっているか</li> <li>・ 事業の実施手法に改善すべき点はないか</li> </ul>

【評価基準】

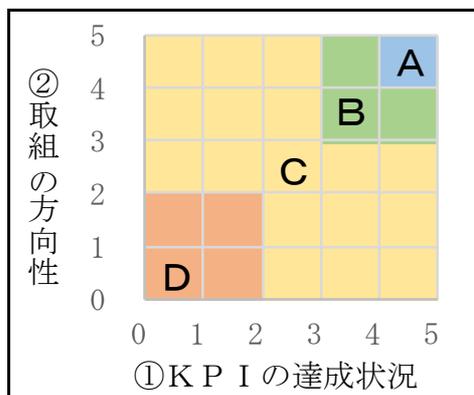
- ・各委員の評価は5段階評価とした。

5点	特に良好 (目標を上回る成果)
4点	良好 (予定どおりの成果)
3点	妥当 (おおむね予定どおりの成果)
2点	見直し検討 (目標や手段の再検討が必要)
1点	要改善 (目標や手段の改善が必要)

【評価ランク】

- ・各委員の評価結果の平均値を算出し、評価ランクを決定した。

評価ランク	考え方	
A	良好	評価視点①②ともに4点より大きい
B	概ね順調	評価視点①②ともに3点より大きい
C	見直し検討	評価視点①②のどちらかが3点以下
D	抜本的見直し実施	評価視点①②ともに2点以下



■第2期横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

項目	評価視点	平均	評価ランク	評価結果	意見記載欄（抜粋）
【基本目標1】 いきいきと働くことができるまちづくり	①KPIの達成状況	3.3		B 概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規就農者は計画を上回り、かつ育成定着についての施策も良好といえる。</li> <li>農業・産業振興・企業等、多くの施策を展開していることは評価できる。その結果、実際の就労にどの程度貢献したか、検証していく必要がある。</li> <li>農業を中心とした各種支援事業が実施されていて良いと思う。このままの方向性でより特色ある取組を実施してほしい。</li> </ul>
	②取組の方向性	3.5			
【基本目標2】 新しい人の流れづくり	①KPIの達成状況	2.5		C 見直し検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内宿泊数はコロナ禍において評価が難しく、宿泊事業者の実感や各観光地の利用者数等を勘案し判断すべきと思考する。</li> <li>「横手やすそば」「増田まんが美術館」のような独創的な取組を発展させ、次なる人の流れを創出したい。</li> <li>全国的に知名度の高い街であるにも関わらず、交流人口が少ない気がする。かまくらやいぶりがっこ等、特色をより強く出してPRに努めてほしい。</li> </ul>
	②取組の方向性	2.5			
【基本目標3】 結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり	①KPIの達成状況	2.3		C 見直し検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬期間に他地域よりコストやリスクが高くなってしまふ。もっと子育てしやすい取組が必要と思う。</li> <li>今後も婚姻率・出生数が増加する計画でいいのか精査が必要である。</li> <li>地元定着が困難だと感じている若い世代にとって結婚・出産・子育てはさらにハードルが高い。広く情報を収集する必要がある。</li> <li>母子・父子家庭が増えていることを踏まえて政策を立てる必要がある。</li> </ul>
	②取組の方向性	2.8			
【基本目標4】 新たな時代に対応した地域づくり・人づくり	①KPIの達成状況	2.8		C 見直し検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域づくりのリーダーが高齢化していて、若い人たちが無関心である。子育て世代の方達も巻き込んだ地域づくりができたらと思う。</li> <li>雪対策が市に住み続ける中でのネガティブ要因であり、雪を有効に活用する施策が必要である。</li> <li>地域活動が低下している中で、若者が参加できるようなコミュニティが求められている。</li> <li>メリハリの効いた雪対策を検討してほしい。</li> </ul>
	②取組の方向性	2.8			
【共通目標】 新しい時代の流れを力にするまちづくり	①KPIの達成状況	3.5		B 概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT弱者への利用促進と啓蒙が必要、ただし、時代の流れとともにICT化は進むので若い世代への活用定着でよいと考える。</li> <li>ICT、スマート農業はこれからの時代に必須であることは明らかである。民間も含め多様なアイデアを集めたい。</li> <li>ゴミ分別のスマホアプリやコンビニでの各種証明書発行等、実生活上で便利に使わせてもらっている。</li> </ul>
	②取組の方向性	3.8			

【評価視点の基準】

- ・2つの評価項目について、5段階評価を実施する。
- 「5点：特に良好」 「4点：良好」 「3点：妥当」
- 「2点：見直し検討」 「1点：要改善」

【評価ランクの基準】

- 評価A：「良好」
- 評価B：「概ね順調」
- 評価C：「見直し検討」
- 評価D：「改善実施」

## 4. 分野別取組結果

総合戦略の各目標分野のKPI（重要業績評価指標）及び取組内容を取りまとめた資料です。各KPIについて、「目標値」と「実績値」を比較し、段階的に達成度を算出しています。

### ◆各種KPIの達成度基準

達成度	基準
a	目標を上回る進捗である（達成） （目標指数の達成度が100以上の場合）
b	予定どおり進捗している（達成） （目標指数の達成度が90以上100未満の場合）
c	概ね予定どおり進捗している（達成） （目標指数の達成度が70以上90未満の場合）
d	目標や手段を再検討する必要がある（未達成） （目標指数の達成度が50以上70未満の場合）
e	目標や手段を抜本的に見直しする必要がある（未達成） （目標指数の達成度が50未満の場合）

※目標指数の達成度 = 「目標値 ÷ 実績値 × 100」

### ◆目標別取組内容

#### 【基本目標1】いきいきと働くことができるまちづくり

- 1. KPIの進捗状況 . . . . . 5
- 2. 主な取組状況 . . . . . 6

#### 【基本目標2】新しい人の流れづくり

- 1. KPIの進捗状況 . . . . . 11
- 2. 主な取組状況 . . . . . 12

#### 【基本目標3】結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり

- 1. KPIの進捗状況 . . . . . 17
- 2. 主な取組状況 . . . . . 18

#### 【基本目標4】新たな時代に対応した地域づくり・人づくり

- 1. KPIの進捗状況 . . . . . 21
- 2. 主な取組状況 . . . . . 22

#### 【共通目標】新しい時代の流れを力にするまちづくり

- 1. KPIの進捗状況 . . . . . 24
- 2. 主な取組状況 . . . . . 25

**【基本目標 1】 いきいきと働くことができるまちづくり**

本市の基幹産業である農業の持続的発展を図るとともに、成長が期待される産業の振興支援などにより働く場の確保に努め、市民がいきいきと安定的に働くことができるまちを目指します。

1. K P I の進捗状況

■新規就農者数	項目	現状値	年度別実績				
		R1	R3	R4	R5	R6	R7
		2019	2021	2022	2023	2024	2025
	目標値		30	30	30	30	30
	実績値	43	43				
	達成率		143.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	達成度		a	-	-	-	-
	単位	人					
指標内容	農業次世代人材投資資金等の制度を活用し、新規就農した者の数。						

■農業産出額	項目	現状値	年度別実績				
		R1	R3	R4	R5	R6	R7
		2019	2021	2022	2023	2024	2025
	目標値		304	308	312	316	320
	実績値	296	294				
	達成率		96.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	達成度		b	-	-	-	-
	単位	億円					
指標内容	農業産出額（3月公表・前々年度推計値）						

■製造品出荷額	項目	現状値	年度別実績				
		R1	R3	R4	R5	R6	R7
		2019	2021	2022	2023	2024	2025
	目標値		1,568	1,615	1,664	1,713	1,765
	実績値	1,435					
	達成率		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	達成度		-	-	-	-	-
	単位	億円					
指標内容	製造品産出額（3月公表・前々年度推計値）						

- ・基幹産業となる農業分野においては、よこて農業創生大学事業や就農支援事業等の実施により、新規就農者の確保と育成につながっている。しかしながら、担い手不足の解消には至っていないことから、引き続き取り組みを推進する必要がある。
- ・農業産出額としては、大雪等により年度単位での増減はあるものの、概ね順調な伸びとなっている。
- ・製造品出荷額に関して直近の実績値が把握できていないが、起業・創業の支援や企業誘致活動の継続的な実施により、雇用の場の拡大につながっている。

## 2. 主な取組状況

### ■農業経営の強化と新規就農者の確保・育成

事業名	①農業経営者等育成事業		担当課	農林部 食農推進課	
事業概要	横手市園芸振興拠点センターにおいて、確かな栽培技術と優れた経営知識を持つ農業経営者の育成と新規就農に向けた農業技術向上のための研修等を実施する。				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者育成研修事業 修了生5名</li> <li>・農業経営実践レベルアップ事業 1回⇒土壌診断講習12/17</li> <li>・各種機関との連携強化 ⇒JA園芸課、東北大学鹿野氏、県立大ほか</li> <li>・市民向け野菜講習・体験事業 4回⇒夏野菜の栽培講習会4/23、4/26、7/8、秋野菜の栽培講習会6/11</li> <li>・働きながら学ぶ夜間園芸入門講座 全5回⇒2/22、3/8、3/15、3/22、3/29</li> </ul>				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	4,572	8,110	-	-	-

事業名	②戦略作物品質向上プログラム確立事業		担当課	農林部 農業振興課	
事業概要	戦略作物（スイカ、きゅうり、トマト、アスパラガス）における栽培データを活用したきめ細やかな指導体制を構築し、栽培技術レベルの高位平準化により高品質化及び収量の増加を図る。				
取組内容	戦略作物品質向上プログラム確立事業 4,399千円（果樹支柱：横手モデル実証試験含） ・スイカ出荷業務についての効率化 スイカの検査申請のデータをICT技術を利用システムの開発 委託費4,078千円				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	4,259	0	-	-	-

事業名	③新規就農者レベルアップ事業		担当課	農林部 食農推進課	
事業概要	農業経営者または新たに農業を始めようとする人に対し、学習や研修の場を提供する。				
取組内容	新規就農者レベルアップ研修の実施 R4.2.21（参加17名 オンライン参加含む） ※コロナ禍により、全国担い手サミットはリモート開催。 ※横手市農業近代化ゼミナールは、コロナ禍による活動縮小により助成なし。				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	148	549	-	-	-

事業名	④フロンティア農業者育成事業		担当課	農林部 食農推進課	
事業概要	農業経営者または新たに農業を始めようとする人に対し、県の施設において農業技術等を習得するための研修に要する経費の一部を補助する。				
取組内容	農業試験場や果樹試験場等で2年間、研修を受ける方に対して、月額10万円の研修奨励金を交付。 研修生 3名（2年目生 1名、1年目生 2名） 対象者 2名（1年目生 2名）※2年目生 1名は別事業の補助金活用 助成額 2,400千円（2名×100千円×12月）				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	2,400	3,600	-	-	-

事業名	⑤地域で学べ農業技術研修事業		担当課	農林部 食農推進課	
事業概要	農業経営者または新たに農業を始めようとする人に対し、横手市園芸振興拠点センターにおいて農業技術等を習得するための研修に要する経費の一部を補助する。				
取組内容	横手市園芸振興拠点センターで農業技術研修を受ける方に対して月額10万円の奨励金を交付。 研修生 10名（2年目生 5名、1年目生 5名） 対象者 9名（2年目生 5名、1年目生 4名） ※1年目生1名は別事業の補助金活用 助成額 10,800千円（9名×100千円×12月）				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	10,800	6,000	-	-	-

事業名	⑥農業次世代人材投資事業		担当課	農林部 食農推進課	
事業概要	認定新規就農者に対し、就農時の経営を安定させるための営農指導を強化するほか、必要な資金を交付する。				
取組内容	50歳未満の新規就農者に対して、就農直後の経営確立を支援する資金を交付。（年間最大150万円、最長5年間） 受給者 35名（継続30名・新規5名）42,369,687円 事務費 49,270円				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	42,419	36,800	-	-	-

事業名	⑦農業インターンシップ事業		担当課	農林部 食農推進課	
事業概要	高等学校で農業を専攻している生徒が、農業の魅力の理解や就農促進に有効なインターンシップを実施したり、研修や先進地視察等の活動に要する経費を助成する。				
取組内容	増田高校農業科学科の生徒を対象に、現地研修や作業研修、農業講話を実施。 先進農家現地研修1件、園芸農業短期研修1件、農業講話1回、農産物加工作業研修1件				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	20	83	-	-	-

事業名	⑧「横手で農業を」スタートアップ支援事業		担当課	農林部 食農推進課	
事業概要	就農相談会や短期研修を開催するほか、移住就農を目指す方に対して、家賃の一部を補助する。				
取組内容	・就農相談会等への出展 1回 ※オンライン出展（新・農業人フェア） ・農業短期研修の実施 2回（2名） ・家賃補助による定着支援 3名				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	523	1,273	-	-	-

事業名	⑨「横手のホップ」ステップアップ事業		担当課	農林部 食農推進課		
事業概要	ホップ生産を目指す方への研修及び研修奨励金を支給するとともにホップ生産基盤整備のための費用の一部を助成する。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規生産者育成・確保に向けた研修事業の実施（1年目研修生2名）</li> <li>・栽培設備、作業機械、共同利用設備・機械の修繕等に係る費用の一部助成（新規就農者への支援を拡充）</li> </ul> 18件 1,286,000円					
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	2,747	5,305	-	-	-	-

■成長が期待される産業の振興支援や起業・創業支援等による雇用の確保

事業名	⑩就職情報総合ポータルサイト「ジョブナビ」構築事業		担当課	商工観光部 商工労働課		
事業概要	若者の横手市への定住を促進するため、新卒者等の若い世代を対象としたUIJターンのための就職を支援する、市内企業の求人状況や企業情報等就職情報ポータルサイトを構築する。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の企業・求人情報を提供するサイトの運用【サイト閲覧の状況（3/31現在）】</li> <li>サイト登録事業者数：2,180件</li> <li>閲覧ユーザー数：延べ49,028人・134人/日</li> <li>閲覧ページ数：延べ82,968ページ・227ページ/日</li> <li>求人検索の利用：延べ7,711回</li> <li>企業検索の利用：延べ6,007回</li> </ul>					
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	4,040	3,550	-	-	-	-

事業名	⑪インターンシップ促進支援事業		担当課	商工観光部 商工労働課		
事業概要	市内企業の魅力の理解や市内就職の促進に有効な制度であるインターンシップの機会を増やすため、大学生等が負担する市内企業へのインターンシップ参加に要する経費を助成する。また、市内企業が、自社の魅力向上と経営課題の解決を目的としたインターンシップを実施するため、インターンシッププログラムの作成支援や当該プログラムの効果的な運営支援を専門家に委託する経費を助成する。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横手市内企業でインターンシップを実施した学生への補助金7件、256千円</li> <li>・企業のインターンシッププログラムをコーディネート機関に委託する経費の補助金1件、150千円</li> <li>・大卒等採用情報セミナーの開催 参加事業所19社（28名）開催にかかる業務委託120千円</li> <li>・県内大学へのインターンシップ開拓訪問 訪問大学3校</li> </ul>					
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	532	1,187	-	-	-	-

事業名	⑫横手市起業家育成事業		担当課	商工観光部 商工労働課	
事業概要	市内で新たに起業しようとする方若しくは起業して間もない方に対し、安価で事務作業スペースを提供するとともに、起業のための経営指導、各種支援制度等の情報提供など多角的な支援を実施する。また、起業・創業に対する助成事業を実施する。				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業ワンストップ相談事業（相談件数158件、フォローアップ12件）</li> <li>・Bizサポートよこて推進事業（R4年3月末入居企業3企業（継続3件）、ほか独立3件）</li> <li>・起業・創業支援事業補助金（6件採択、1,582千円）</li> <li>・女性のための起業セミナー（参加者数17名※延べ28名）2日間に亘り開催、起業・創業の基本のセミナーを開催し、自分の進みべき道を探していただく。</li> </ul>				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	10,074	22,176	-	-	-

事業名	⑬地域経済牽引事業		担当課	商工観光部 商工労働課	
事業概要	経済的波及効果の高い地域経済牽引事業の確実な実施を後押しし、産業振興による地域経済の振興と雇用の創出・拡大を図るため、設備投資に係る費用の一部を助成する。				
取組内容	・経済的波及効果の高い地域経済牽引事業を実施する企業1社に3,834千円の補助金を交付。				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	3,834	0	-	-	-

事業名	⑭地域ビジネス発掘調査事業		担当課	商工観光部 商工労働課	
事業概要	産学官連携の取り組みの強化と企業支援アドバイザーとの連携を図り、大学や企業支援アドバイザーが有する知見の提供により、市内事業者の課題解決と新たなビジネスの発掘を通じ産業振興を図る。				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業支援アドバイザーによる市内企業支援実施 企業支援アドバイザー委託料 3,840千円</li> <li>・東北大学との連携による市内企業支援実施 東北大学教授の旅費・宿泊費 27千円</li> </ul>				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	3,898	4,220	-	-	-

事業名	⑮IT・ソフトウェア関連産業立地優遇制度助成事業		担当課	商工観光部 企業誘致課	
事業概要	地理的・気候的な制約が少なく、更なる成長が望めるIT・ソフトウェア関連産業の立地を積極的に推進するために、新規に設立した法人や、既存事業の拡大をする市内法人に助成を行う。				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の紹介、説明や新規の問合せ企業へ訪問を行い実施。また、既存認定企業3社へ現況確認の実施。</li> <li>・事業の審査認定、補助金支払いについて、既存認定企業3社に実施。24,140千円</li> </ul>				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	24,140	28,740	-	-	-

事業名	⑩中小企業人財育成支援事業		担当課	商工観光部 商工労働課		
事業概要	市内企業及び事業者の従業員の人財育成を通じ、市内企業等の雇用の安定と活性化を図るため、従業員に対し行う資格取得等の経費の一部に対し助成金を支給する。					
取組内容	資格取得した自社の従業員に対し行う資格取得等の経費の一部を補助金として交付した。 対象企業：17社 補助金額：1,497千円					
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	1,497	3,000	-	-	-	-

事業名	⑪中小企業設備導入支援事業		担当課	商工観光部 商工労働課		
事業概要	比較的規模の小さい市内企業の生産性向上を後押しし、事業拡大や人手不足を解消するため、企業が実施する設備投資費用に対し助成金を支給する。					
取組内容	・中小企業等経営強化法に基づき投資を実施する市内中小企業に補助金を交付。 交付決定数10社、補助金交付額計14,390千円					
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	14,390	24,000	-	-	-	-

## 【基本目標2】新しい人の流れづくり

豊かな自然や文化・観光資源などを最大限に生かし、交流人口の増加による市内経済の好循環と地域活性化を促すとともに、応援人口が地域課題解決のためにさまざまな分野に関わる流れをすることで新しく人やモノの循環を生み出し、「交流人口」「応援人口」「定住人口」の3者が交わるまちづくりを進めます。

### 1. K P I の進捗状況

■ 社会増減	項目	現状値	年度別実績				
		R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
	目標値		△ 383	△ 375	△ 367	△ 359	△ 351
	実績値	△ 401	△ 448				
	達成率		85.5				
	達成度		c	-	-	-	-
	単位	人					
	指標内容	秋田県年齢別人口流動調査（月報告）					

■ 市内の延べ宿泊者数	項目	現状値	年度別実績				
		R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
	目標値		250	253	256	261	265
	実績値	248	193				
	達成率		77.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	達成度		c	-	-	-	-
	単位	千人					
	指標内容	市内宿泊施設聞き取りによる宿泊者数調査の実数					

■ 市の関与により移住した世帯数	項目	現状値	年度別実績				
		R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
	目標値		12	12	12	12	12
	実績値	10	12				
	達成率		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	達成度		b	-	-	-	-
	単位	世帯					
	指標内容	公益財団法人 秋田県ふるさと定住機構に登録した方で、総合戦略計画期間中に移住した世帯数					

■よこて f u n 通信読者数	項目	現状値	年度別実績				
		R1	R3	R4	R5	R6	R7
		2019	2021	2022	2023	2024	2025
	目標値		11,000	11,500	12,000	12,500	13,000
	実績値	9,388	10,561				
	達成率		96.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	達成度		b	-	-	-	-
	単位	人					
指標内容	よこて f u n 通信読者の実数						

- ・社会動態としては、目標値を大きく下回る結果となっている。
- ・宿泊者数の推移に関しては、感染症拡大の影響により大きく落ち込んでいるが、今後の社会情勢を見極めながら継続した取り組みを進める必要がある。
- ・移住世帯数及びよこて f u n 通信読者数については、概ね目標通りとなっている。

## 2. 主な取組状況

### ■文化・観光振興等による交流人口・応援人口の拡大

事業名	①横手市情報発信戦略プロジェクト事業	担当課	総務企画部 秘書広報課
事業概要	フェイスブック、ツイッター、LINEなどのSNSをフル活用し、横手の魅力を全国へ発信するとともに、視覚的に効果がある『動画』でのPRも積極的に展開していく。また横手市情報センターでは、行政情報のみならず、市民や企業が発信したい情報をこれまで以上に積極的に収集し、さまざまな形でアウトプットすることで、より効果的な情報発信を行う。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●横手市情報センター・横手市公式LINE管理運営委託 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報管理数653件（市役所432件、市民61件、Yokotter160件）</li> <li>・デジタルサイネージ掲載数 24402件</li> </ul> </li> <li>●各種SNS等による情報発信数 <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイスブック 245回</li> <li>・Youtube 140回</li> <li>・横手市公式LINE 57回</li> <li>・ツイッター 158回</li> </ul> </li> </ul>		
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-
	3,847	3,399	-

事業名	②増田まんが美術館情報発信強化事業		担当課	まちづくり推進部 文化振興課		
事業概要	増田まんが美術館の認知を広げるとともに、まんが美術館と「増田の町並み」を連携し一体的な観光拠点として相乗効果を図る。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●横手市増田まんが美術館を中核とした地域資産活用地域計画に基づく事業 (秋田空港広告更新、秋田空港および東京タワーでの出張まんが美術館展示、ラッピングバス運行事業、十文字道の駅まんが美術館情報発信コーナーでの情報発信、商談用パンフレットの更新、美術館および町並みでのエージェント商談会)</li> <li>●横手市増田まんが美術館情報発信事業 マンガ瓦版の発行(4回)、PRサポーター事業(新規登録2件・計28件、年4回サポーター通信の発行)</li> </ul>					
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	6,123	8,607	-	-	-	-

事業名	③増田まんが美術館費		担当課	まちづくり推進部 文化振興課		
事業概要	国内初のマンガ原画の収蔵・展示に重点を置いた美術館として、市民をはじめ国内外の人々から親しまれる特色ある美術館運営を進める。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化振興課マンガ戦略系の総務的経費 ・名誉館長謝礼、マンガ活用アドバイザー会議の開催、美術館修繕、原画収蔵業務、文化庁メディア芸術促進事業に係る業務、アニメツーリズム協会との連携</li> <li>●マンガ活用事業実行委員会事業 高橋よしひろ氏画業50周年関連事業経費 (市内連携展示：増田観光物産センター「蔵の駅」、市外PR展示：秋田空港)</li> </ul>					
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	3,769	7,681	-	-	-	-

事業名	④増田まんが美術館費(債務負担)		担当課	まちづくり推進部 文化振興課		
事業概要	国内初のマンガ原画の収蔵・展示に重点を置いた美術館として、市民をはじめ国内外の人々から親しまれる特色ある美術館運営を進める。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●増田まんが美術館指定管理料 ・まんが美術館の施設管理 ・令和3年度入館者数 87,283人(内有料入場者数26,211人) ・美術館内および町並み連動特別企画展の開催(8回) ・ワークショップの開催(開催回数112回、参加人数1,412人) ・マンガ原画収蔵事業(収蔵数累計 183名、449,460点)</li> </ul>					
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	90,649	90,508	-	-	-	-

事業名	⑤横手産品販路拡大推進事業		担当課	商工観光部 横手の魅力営業課		
事業概要	首都圏や仙台圏の店舗催事等を活用した農産品・農産加工品のPR・販促活動を実施する。また、農業生産者とバイヤーとのマッチングや商談機会の創出による定期商流の確立に向けた支援を行う。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏での販売促進(九州屋2回、サカガミ2回)</li> <li>・仙台圏での販促活動、催事支援(八百長商店6回)</li> <li>・商談機会創出による農産品等の販路拡大支援(32回)</li> <li>・いぶりがっこの品質向上と販路拡大支援(研修会、物産展)</li> <li>・外食産業での横手産食材メニューの提供と物産販売(2週間)</li> <li>・北東北3市連携のシティプロモーション事業を実施</li> </ul>					
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	4,161	7,104	-	-	-	-

事業名	⑥海外販路マネジメント事業		担当課	商工観光部 横手の魅力営業課	
事業概要	海外販路開拓・拡大に意欲的な事業者に対する支援を行い、地域経済の活性化に資するとともに、横手の魅力を発信することで海外の横手ファン獲得と観光誘客につなげる。				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マカオ 日本食品取扱商社への商品輸出支援（市内5事業者・輸出回数30回）</li> <li>・マカオ向け新規商品提案の実施（菓子、米、青果）</li> <li>・現地レストランに展示する販促用品の企画・製作（看板・米俵）</li> <li>・海外販路アドバイザーの委嘱と相談の実施（2回）</li> </ul>				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	375	3,777	-	-	-

事業名	⑦応援人口拡大事業		担当課	商工観光部 横手の魅力営業課	
事業概要	横手の魅力を発信する情報紙「よこてfun通信」の発行を通じ、交流人口と応援人口の増加を図り、物産振興による地域経済の活性化を促進する。				
取組内容	<p>交流情報紙「よこてfun通信」の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よこてfun通信 年4回発行（R3年度.3月号時点 定期読者数10,561人）</li> <li>・横手の物産活性化事業等と連動した通信販売事業の実施 1回</li> <li>・関係各課と連携し、横手応援市民に向けた記事を毎号掲載</li> <li>・新規読者獲得に向けた取組み（市外への転出者や市内高校3年生へのチラシ配布、SNS発信等）</li> <li>・横手応援拠店事業の制度設計及び店舗情報収集</li> </ul>				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	12,327	15,712	-	-	-

事業名	⑧応援人口との関係深化事業		担当課	まちづくり推進部 地域づくり支援課	
事業概要	横手市に住んでいなくても継続的に多様な関わりを持ってきている応援人口とともに課題解決に取り組むため、大規模イベントや首都圏でのイベント等を通じて応援意識の醸成と底上げを図るとともに、横手の課題応援事業としていくつかのメニューを企画・実施し、応援市民による地域課題への具体的な応援・支援といった取り組みの深化を図る。				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横手応援市民学校「なべっこ遠足in東京」 0円（コロナ禍により開催中止）</li> <li>・東北大学との共同研究 負担金1,800,000円</li> <li>・共同研究に基づくテストイベント経費 消耗品費138,743円 通信運搬費32,769円</li> </ul>				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	1,972	3,642	-	-	-

事業名	⑨インバウンド対応事業		担当課	商工観光部 観光おもてなし課		
事業概要	秋田県との合同により台湾やタイを主なターゲットとしたPR事業を実施するほか、多言語表記による案内板の設置、おもてなし講習会の開催など、外国人観光客受け入れと誘客のための各種事業を展開する。また、台湾の大学との連携により、応援人口のネットワークを活用し、中国語サイトやガイドブックを作成するなど、台湾人旅行者に向けた誘客を積極的に推進する。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドブック作成（繁体字500部）479千円（需用費）</li> <li>・タクシー観光周遊促進のための外国語HP制作業務委託 484千円（委託料）</li> <li>・大同大学との国際的産学官連携事業 5,120千円（委託料）</li> <li>・Wi-Fi運用 366千円（委託料）</li> <li>・こまちシャトル運行 11千円（委託料）</li> <li>・上記に係る消耗品等 379千円（報償費、需用費、役務費）</li> </ul>					
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	6,839	6,885	-	-	-	-

事業名	⑩地域資産活用地域計画推進事業		担当課	商工観光部 観光おもてなし課		
事業概要	横手市増田まんが美術館と「増田の町並み」を連携し、一体的な観光拠点として魅力を発信しながら、観光客等の市内回遊を促進し、波及効果を図る。					
取組内容	横手市増田まんが美術館を中核とした地域資産活用地域計画に基づく事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光PR動画制作 ゲンガノミカタ10本、施設紹介4本（1,499千円）</li> <li>・増田まんが美術館サテライト展示（537千円）</li> <li>・インバウンド誘客強化事業 タイFacebook、台湾向けバーチャル観光ツアー実施（5,159千円）</li> <li>・タクシーラッピング事業 タクシーラッピング5台、WEB改修（495千円）</li> <li>・観光案内看板設置（2,684千円）</li> <li>・デジタルサイネージの整備（837千円）</li> <li>・無料公衆無線LAN整備（8,389千円）</li> </ul>					
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	19,633	11,035	-	-	-	-

事業名	⑪横手の冬ブランド化事業		担当課	商工観光部 観光おもてなし課		
事業概要	冬の伝統行事「かまくら」を全国発信するとともに、受入体制を強化し誘客を図る。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横手の雪まつり（かまくら制作、梵天奉納祭経費ほか）787千円</li> <li>・出前かまくら（6か所開催※東京タワー、那珂市、加古川市ほか）4,025千円</li> <li>・出前かまくら（PR動画制作）99千円</li> <li>・みちのく五大雪まつり（負担金※ポスター制作と掲示）209千円</li> </ul>					
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	5,120	11,154	-	-	-	-

事業名	⑫よこて観光地域づくり推進事業		担当課	商工観光部 観光おもてなし課		
事業概要	「観光地経営」の視点をもって地域の稼ぐ力を引き出し、「観光地域づくり」の舵取り役となる（一社）横手市観光推進機構と連携し、来訪者にとっては「訪れて良し」、住民にとっては「住んで良し」の環境づくりを進める。					
取組内容	横手市観光推進機構補助金（事業費対応） ・秋田まるごと発酵の祭典 129千円 （モニターツアー広告費、郵券代）※中止のため実費分 ・観光エキスパート推進事業 1,000千円 （作品展示会、ワークショップ開催、OTA掲載） ・横手駅前賑わい創出事業 1,400千円 （8月1日開催 横手駅東口まつり 来場者1,300名）					
事業費 （千円）	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	2,529	6,700	-	-	-	-

#### ■移住・定住の促進

事業名	⑬移住定住促進事業		担当課	総務企画部 経営企画課		
事業概要	移住定住促進のサイクルとして、移住検討段階の方々への情報発信強化、オンライン相談対応や大規模相談会等への出展、移住コンシェルジュ・アドバイザーを活用したきめ細かな相談対応といった取り組みを実施し、後悔のない移住へとつなげる。また、東京圏への過度な一極集中の是正及び地域の中小企業等における人手不足の解消を図るため、地方創生推進交付金を活用し、移住支援金の支給を行う。					
取組内容	・移住コンシェルジュ1名委嘱、移住アドバイザー1名委嘱 851千円 ・移住促進動画の作成及びマッチングWEBサービスの利用による情報発信強化 918千円 ・定住促進パンフレットの作成（1,000部）、市内中学校から定住促進キャッチフレーズを募集 74千円 ・移住支援金の支給（単身60万円×2件、世帯100万円×1件） 2,200千円 ・相談対応件数 5件（電話3件、Zoomオンライン2件）、オンラインAターンフェア出展：相談0件 ・移住者数実績：12世帯・22名					
事業費 （千円）	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	4,043	7,441	-	-	-	-

事業名	⑭移住就農者経営安定支援事業		担当課	農林部 食農推進課		
事業概要	県外から移住し、新たに農業経営を開始する者を対象に、営農開始時の立ち上げ経費の軽減を図る目的で経費の一部を支援する。					
取組内容	県外から移住して新たに農業経営を開始する者を対象に、営農開始時に必要な経費に対する支援を実施。（対象者に対し、一年のみ交付。） 実績：1名（500千円）					
事業費 （千円）	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	500	0	-	-	-	-

### 【基本目標3】結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり

若い世代が将来に不安なく結婚し、希望する時期に安心して出産や子育てができる環境をつくり、市民の結婚や出産、子育てに関する希望がかなうまちを目指します。

#### 1. KPIの進捗状況

■ 婚姻率	項目	現状値	年度別実績				
		R1	R3	R4	R5	R6	R7
		2019	2021	2022	2023	2024	2025
<p>4.000 3.000 2.000 1.000 0.000</p> <p>R1 R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>--- 目標値 ——— 実績値</p>	目標値		2.960	2.970	2.980	2.990	3.000
	実績値	2.940	2.285				
	達成率		77.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	達成度		c	-	-	-	-
	単位	-					
指標内容	婚姻率＝年間婚姻件数（n年度）÷人口（n年10月1日現在の人口）×1000						

■ 出生数	項目	現状値	年度別実績				
		R1	R3	R4	R5	R6	R7
		2019	2021	2022	2023	2024	2025
<p>450 400 350 300</p> <p>R1 R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>--- 目標値 ——— 実績値</p>	目標値		403	407	411	415	419
	実績値	395	355				
	達成率		88.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	達成度		c	-	-	-	-
	単位	人					
指標内容	秋田県年齢別人口流動調査						

- ・婚姻率については、近年と比較しても、大きな減少となっている。
- ・出生数については、一年単位で50人近い減少が複数年に亘って続いており、減少傾向が常態化している。

## 2. 主な取組状況

### ■結婚を希望する若い世代へのアプローチ

事業名	①若者交流事業		担当課	総務企画部 経営企画課	
事業概要	市内の地域資源等を活用した「街コン」や「趣味コン」など、独身男女が気軽に楽しむことができる出会いの場を創出し、交際ひいては結婚につなげる。				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン形式での出会いイベントの開催について公募したが申込はなかった。</li> <li>・市委託事業としてオンライン出会いイベントを開催した。男性は横手市内在住、女性は居住地を問わず参加者を募集した。1月に①婚活セミナーを1回、②婚活フェスを3回開催。③委託先の独自事業として1月末～2月に同フェスを15回開催した。（委託料：660千円 委託先：合同会社HOMARE）</li> <li>・①婚活セミナーには男性6名、女性3名の計9名が参加。②委託事業としてのフェスには男性のべ14名、女性のべ4名の計18名が参加。③独自事業としてのフェスには男性のべ19名、女性のべ14名の計33名が参加した。</li> </ul>				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	1,010	2,000	-	-	-

事業名	②結婚新生活支援事業		担当課	総務企画部 経営企画課	
事業概要	新婚世帯（夫婦共に婚姻日における年齢が39歳以下かつ夫婦の合計所得が400万円未満の世帯）が結婚に伴う新生活スタートにかかる住居費や引っ越し費用などを助成する（1世帯あたり上限30万円）。				
取組内容	<p>夫婦共に婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得400万円未満（世帯年収約540万円未満）の新規に婚姻した世帯に対して、婚姻に伴う住宅取得費用又は住宅賃借費用、引越費用を助成。</p> <p>■令和3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助上限 300千円</li> <li>・申請件数 14件 ※うち2件は令和4年度に継続申請あり</li> </ul>				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	3,801	3,900	-	-	-

事業名	③三世帯等同居等促進住まい支援事業		担当課	総務企画部 経営企画課	
事業概要	子育て世帯（中学生以下の子どもをもつ世帯）が、新たに親元等と同居又は近居しようとする場合に必要な費用（当該世帯の住宅取得費用、当該世帯又は親元等が所有する住宅の増改築等）の一部を助成する（補助金の一部は横手市共通商品券による）。				
取組内容	<p>子育て世帯（中学生以下の子どもをもつ世帯）が、新たに親元等と同居又は近居しようとする場合に必要な費用（当該世帯の住宅取得費用、当該世帯又は親元等が所有する住宅の増改築費用等）の一部を助成する。</p> <p>①近居の範囲：直線距離 2kmまで ②同居・近居／取得・改築等の状況に応じ、80万円～15万円</p> <p>■R3実績</p> <p>同居/新築・購入：80万円*5件、同居/改修等：30万円*3件          近居/新築：40万円*5件、近居/改修等：15万円*0件 計 13件          フラット35利用者 1件</p>				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	6,900	11,200	-	-	-

■安心して子どもを産み育てられる環境のさらなる向上

事業名	④男女共同参画社会推進事業		担当課	まちづくり推進部 地域づくり支援課	
事業概要	男女共同参画意識普及啓発のため、市報やホームページ等による啓発のほか、イベントや研修会等を開催する。				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横手市男女共同参画推進協議会（6月・11月 ※2回とも書面開催） 事業費（委員への報奨金）：120千円</li> <li>・横手市男女共同参画フェスティバルの代替企画の実施 （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、商工労働課が主催する就職相談会場での啓発パネル展示に変更） 事業費（パネル作成費等）：22千円</li> </ul>				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	142	463	-	-	-

事業名	⑤ワークスタイル研修受講支援事業		担当課	まちづくり推進部 地域づくり支援課	
事業概要	働き方の改革に敏感で、仕事と家庭生活の両立の実現に取り組む企業を増やすため、企業や事業所向けにワークライフバランスやハラスメント対策等に関する研修等を実施する。				
取組内容	働き方改革に対応し、仕事と家庭生活の両立の実現に取り組む企業を増やすため、管理職層向けと従業員向けと対象を分けて、ワークライフバランスに関する講演会・研修を実施した。 ■管理職向け講演会：11/4 参加者34名 事業費（委託料）330千円 従業員向け研修：10/6・2/24 参加者計72名 事業費（委託料等）747千円				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	1,077	1,200	-	-	-

事業名	⑥福祉医療事務費 ⑦福祉医療給付費		担当課	市民福祉部 国保市民課	
事業概要	中学生までの医療費の自己負担を無料化する。				
取組内容	・対象者13,994人（年度末）に対し、現物給付及び現金給付にて福祉医療費を給付している。対象者数、給付費ともに減少。				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	725,896	780,363	-	-	-

事業名	⑧子どものための教育・保育給付費		担当課	市民福祉部 子育て支援課	
事業概要	保育所や認定こども園などの利用料について県と市で助成し、保護者の負担を軽減する。また、幼児教育・保育の無償化により保護者負担となった3歳以上の子どもの副食費（おかずやおやつ）について、県の助成に、さらに市で上乗せ助成をし、実質無償化とする。				
取組内容	《施設型給付費等》私立保育所24か所、認定こども園6か所、事業所内保育施設2か所へ支弁した。 《すこやか扶助費》認可外保育施設、認定こども園、市外公立保育所を利用する児童に対し、保育料の助成を行う。幼保無償化により保護者負担になった副食費の助成を行う。				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	2,932,084	3,224,208	-	-	-

事業名	⑨病児保育事業		担当課	市民福祉部 子育て支援課	
事業概要	病気及び病気の回復期にある子どもが保育所などでの集団生活が困難な場合、専用施設や保育所において一時的に保育するほか、保育中に体調不良になった子どもを保育所の医務室などで緊急対応する。				
取組内容	病児・病後児対応型の病児保育事業を委託により実施し、体調不良児対応型を実施した私立保育所等に対し、補助金を交付した。 病児対応型 医療機関 1ヶ所 病後児対応型 私立保育所 1ヶ所 体調不良児対応型 私立保育所 11ヶ所				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	48,556	66,130	-	-	-

**【基本目標 4】 新たな時代に対応した地域づくり・人づくり**

新しい時代にふさわしい横手の未来を切り拓く若者が活躍し、誰もが安全で安心して生活できるまちづくりを進めます。

1. K P I の進捗状況

■ 自主運営組織数	項目	現状値	年度別実績				
		R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
	目標値		20	22	24	26	28
	実績値	17	20				
	達成率		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	達成度		b	-	-	-	-
	単位	団体					
指標内容	自主運営組織数						

■ 市に住み続けたいと思う市民の割合	項目	現状値	年度別実績				
		R1 2019	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
	目標値		85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
	実績値	80.7	76.0				
	達成率		89.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	達成度		c	-	-	-	-
	単位	人					
指標内容	まちづくりアンケート 「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」と回答した市民の割合						

- ・ 自主運営組織数については、目標通りの進捗となっている。
- ・ 市に住み続けたいと思う市民の割合については、近年では最も低い数値となっているが、感染症拡大や大雪等の影響なども含めて継続的に確認する必要がある。

## 2. 主な取組状況

### ■横手で活躍できる人材の育成

事業名	①「横手を学ぶ郷土学」推進事業		担当課	教育総務部 文化財保護課		
事業概要	小学生から中学生まで総合的に活用できる「横手を学ぶ郷土学総合テキスト」等を通じ、郷土に愛着と誇りをもった子どもを育成する。また、地域の伝統芸能等が次世代につながるよう支援する。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合テキスト『よこてだいすき』等を活用した取組みが全小中学校で実践された。</li> <li>・雄物川郷土資料館にて「横手を学ぶ郷土学」に基づく特別展を開催した。</li> </ul> 令和 3年度・横手市創作子ども歌舞伎を十文字小学校において上演した（R3.9.19（日）上演）。					
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	2,209	55	-	-	-	-

事業名	②次世代ものづくり人材育成事業		担当課	教育指導部 教育指導課		
事業概要	望ましい勤労観や職業観の育成を図るため、小学生を対象とした職場見学ツアーや、中学生を対象とした職場体験学習受入事業所リスト整備等を実施する。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、密を避けるため「科学お楽しみ広場」、「小学生職場見学ツアー」、「キャリア教育研修会」が中止となった。</li> <li>・「第46回横手市児童生徒理科研究作品展」は審査会の形で実施した。（理科工作部門 最優秀賞 低2中4高4、採集標本部門 最優秀賞 高1）</li> <li>・「ものづくり交流会」は増田中を会場に開催。技術分野（27千円）、家庭分野（5千円）</li> <li>・「職場体験受入事業所（“未来体験”応援団）」の整備は引き続き行った。</li> </ul>					
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	33	175	-	-	-	-

事業名	③マンガ活用推進事業		担当課	まちづくり推進部 文化振興課		
事業概要	マンガを活用した教育を推進するため、市内小中学校の児童、生徒を対象としたマンガ教室等を開催する。また、県内外の小中学校を対象に教育旅行の誘致を行う。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マンガを活用した教育推進事業</li> <li>・横手市ミライの漫画家発掘マガジン制作プロジェクト（作品掲載者数 小学生81名・中学生26名／マガジン製本数708頁・250冊／配布先 応募者・市内公共施設・市内小中学校等）</li> <li>・秋田県教育旅行説明会（札幌市）への参加</li> <li>・まんが美術館を活用した市内小中学校との連携（校外学習等受入れ）</li> <li>・園芸振興拠点センター、伝建地区の社会見学用教材の制作</li> </ul>					
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	3,117	3,685	-	-	-	-

■安心して暮らしやすい地域社会の維持

事業名	④地域運営組織形成支援事業		担当課	まちづくり推進部 地域づくり支援課	
事業概要	地域運営組織形成に向け、地域住民を対象としたワークショップ、先進地視察、研修等を実施する。				
取組内容	【ワークショップの実施】里見地区（6～2月、8回、参加者数延べ99名）【地区交流C事業開始に向けた支援】境町・準備委員会（4～3月、6回、参加者数延べ102名）、山内・準備委員会等（5～1月、6回、参加者数延べ125名）、三重・準備委員会（10～2月、3回、参加者数延べ57名）・アンケート調査（3月、回答数526票、回収率23%）【職員対象研修の実施】C職員等研修（811月、4回、延べ58名）【支出内訳】・報償品（紫波町視察土産）2,916円・旅費（紫波町視察）8,800円・消耗品費53,291円・通信運搬費3,360円・委託費（境町・里見・三重・山内）2,598,310円				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	2,667	6,244	-	-	-

事業名	⑤地域づくり市民活動補助事業		担当課	まちづくり推進部 地域づくり支援課	
事業概要	豊かな地域社会を実現するため、地域住民による自主的・主体的なまちづくり活動や地域課題活動に対し補助する。				
取組内容	交付件数 55件 交付実績額 9,337,127円 (内訳) 自主運営組織・地区会議事業 交付件数 36件 交付実績額 4,985,130円 非営利団体 地域課題解決型事業 交付件数 10件 交付実績額 2,257,000円 非営利団体 イベント型事業 交付件数 1件 交付実績額 170,000円 旧元気の出る地域づくり事業 交付件数 8件 交付実績額 1,924,997円				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	9,337	30,000	-	-	-

事業名	⑥町内会活動補助事業		担当課	まちづくり推進部 地域づくり支援課	
事業概要	自治会、町内会、集落等が行う活動（環境保全、地域活性化、伝統文化継承、福祉、防災防犯、世代間交流）やコミュニティ活動に必要な備品整備に要する経費に対し補助する。				
取組内容	・地域活動補助金 交付件数 18件 交付実績額 573,665円 (内訳) 横手 1件 19,500円 増田 6件 197,065円 平鹿 3件 53,900円 雄物川1件 35,100円 大森 2件 97,400円 十文字 2件 62,500円 山内 1件 34,100円 大雄 2件 74,100円 ・備品整備補助金 交付件数 12件 交付実績額 1,181,000円				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	1,755	9,500	-	-	-

事業名	⑦町内会館等建設補助事業		担当課	まちづくり推進部 地域づくり支援課	
事業概要	自治活動の拠点となる集会施設等の整備（新築・改築、土地購入、建物補修）に要する経費に対し補助する。				
取組内容	交付件数 18件 交付実績額 3,175,000円 (内訳) 改修 18件 交付実績額 3,175,000円				
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-
	3,175	9,500	-	-	-

**【共通目標】新しい時代の流れを力にするまちづくり**

Society5.0※3の実現に向けた技術（未来技術）の進展は、人口減少や少子高齢化の課題に対処することや、サービスの利便性を高め、産業や生活の質等の向上が期待されるため、基本目標1～4の共通目標に掲げて取り組みます。

1. K P I の進捗状況

■ICTを活用した市民サービス向上の仕組み数	項目	現状値	年度別実績				
		R1	R3	R4	R5	R6	R7
		2019	2021	2022	2023	2024	2025
	目標値		12	14	16	18	20
	実績値	9	16				
	達成率		133.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	達成度		a	-	-	-	-
	単位	件					
指標内容	ICTを活用した市民サービス向上（スマホアプリ、SNSなど）						

■革新的ICT技術の活用数	項目	現状値	年度別実績				
		R1	R3	R4	R5	R6	R7
		2019	2021	2022	2023	2024	2025
	目標値		2	4	6	8	10
	実績値	1	5				
	達成率		250.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	達成度		a	-	-	-	-
	単位	件					
指標内容	業務取得（AI、AI-OCR、キャッシュレス等）						

■ICTを使った授業がよくわかって楽しいと思う児童生徒の割合	項目	現状値	年度別実績				
		R1	R3	R4	R5	R6	R7
		2019	2021	2022	2023	2024	2025
	目標値		60.0	65.0	72.0	81.0	90.0
	実績値	90.0	80.0				
	達成率		133.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	達成度		a	-	-	-	-
	単位	%					
指標内容	児童生徒に対するアンケート						

- ・ ICTを活用した市民サービス向上の仕組み数については、目標値以上の取組結果となっており、引き続き利便性向上のための取り組みを推進する必要がある。
- ・ 革新的ICT技術の活用数については、新しい生活様式の定着により、キャッシュレスの導入などが加速したことなどを受けて、目標を上回る取組結果となっている。
- ・ ICTを使った授業がよくわかって楽しいと思う児童生徒の割合については、昨年度との比較では落ち込んでいるものの、目標は達成している。

## 2. 主な取組状況

### ■Society5.0の実現に向けた取り組みの推進

事業名	①スマート農業普及支援事業		担当課	農林部 農業振興課		
事業概要	秋田県立大学との連携協力協定に基づき、スマート農業機械を使用した実証試験等を行い、従来作業の労働時間等を比較するための作業データの収集や市内農事組合法人への周知により、スマート農業の普及を図る。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型圃場実証試験協力団体への謝礼 300,000円</li> <li>・産業用ドローン 本体 5台 1,445,000円、認定証取得 27人 4,035,000円</li> <li>・スマート農機 コンバイン 1台 6,500,000円、田植え機 2台 5,211,000円</li> </ul>					
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	17,491	7,300	-	-	-	-

事業名	②小中学校ICT環境整備事業（建設）		担当課	教育総務部 教育総務課		
事業概要	新しい時代に必要とされる情報活用能力の育成や、ICTを効率的に活用した分かりやすく深まる授業の実現等を図るため、小中学校のICT環境整備の促進に取り組む。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型提示装置等購入（電子黒板（75インチ）×56台） 21,129千円</li> <li>・モバイルWi-Fiルーター購入（11千円×1.1×103台） 1,246千円</li> </ul>					
事業費 (千円)	R3決算額	R4当初予算額	-	-	-	-
	22,375	15,057	-	-	-	-